

農大和牛近況報告

農学部 動物科学科 岩田 尚孝 教授



農大和牛プロジェクトについて

黒毛和種は“さし”という**霜降り**で有名な日本のブランド牛肉です。

このような牛を作るには多くの場合、**輸入穀物**を組み合わせて配合した飼料を独特のプログラムのもとで与える必要があります。

一方で、**牛は本来、草を食べて成長する生き物です**。現在牧草を食べた健康的な赤身の肉も牛肉の楽しみ方として注目が集まっています。

農大和牛は、**富士農場の広大な地で牧草を食べて育った赤身が特徴**の和牛です。

この度誕生した子牛も**牧草食で肥育**し、**2~3年といった肥育期間**で、そこで予想される様々な飼育形態にかかる費用を明らかにし、**グラスビーフ**に対する価格帯、消費者層等を探究していくプロジェクトとなります。

5/27 富士農場にて誕生



杏雅（雄）黒毛
体重36kg



きょうか（雌）
褐毛混じりの虎毛 体重33kg

6/26の様子(生後1か月)

初乳



代用乳
4L/日



人口乳
(含)穀物、
ヘイキューブ



(離乳食)



第一胃の発酵
を促す



7/23の様子(生後2ヶ月)



人口乳(3ヶ月迄)
(高タンパク質)



牧草も食べられるよう
になりました～

体重は約2倍！

9/28の様子(生後4か月)

人工乳
+ 乾燥牧草
+ 富士農場産
グラスサイレージ
+ 塩の塊(塩分補給)

体重は約3倍！



9/28の様子



きょうか

おなかいっぱい
休憩タ~イム!

9/28の様子

角が生えました！



きょうか

個体識別番号 10桁

10/11の様子(生後5ヶ月)



杏雅

きょうか

いつも2匹は
同じペン(房)
にいるよ

10/11の様子



杏雅

きょうか

11/12の様子(生後6か月)



除角



11/12の様子



11/12の様子



12/14の様子(生後7か月)



杏雅

きょうか

富士農場産のグラスサイ
レージを混ぜた粗飼料を
たくさん食べてすくすく
育ってますっ！

農大和牛の展開について

現在、日本では**肉用牛**として用いる**子牛の数が不足**しているため、**子牛価格が高騰**し、**肥育農家の経営を圧迫**しています。そのため新しい方法での和牛の増産が大きな課題となっています。

受精卵を使った和牛の増産は、**乳用牛を母体として活用**するため、**牛乳生産**に加えて、高価な和牛子牛の販売収益により**経営を安定化**させる効果があります。

東京農業大学では**受精卵を活用**した子牛生産を介して、**新しい和牛の形を提案**するとともに、**農業や地域の振興に役立てていこう**と考えています。